

愛媛の博物館

新規加入館だより

久万高原天体観測館

学芸員 重藤遼太郎

久万高原町は雄大な自然や美しい景観、清流米や高原野菜といった農産物など豊かな自然を楽しめる。また都市部から比較的近いことや四国遍路の中間点ということもあり観光客も多い。これらの観光資源を活用し、さらなる交流人口の増加を図るため、昭和47年に農林省の自然休養村事業の指定を受け、昭和59年「久万高原ふるさと旅行村」がオープンした。久万高原ふるさと旅行村は地元住民と観光客の交流拠点としてだけでなく、様々な自然体験ができる施設としても活用が望まれていた。そこで美しい星空を体験できる天体観測



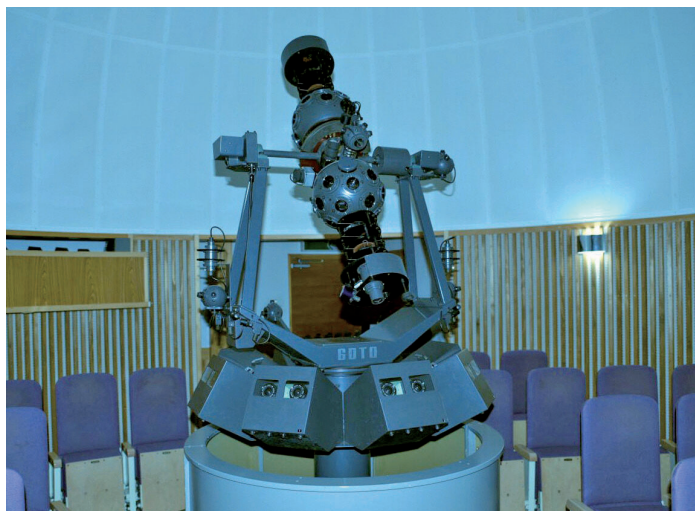
施設の計画がなされ、天文台とプラネタリウムも併設することとした。また当時町内の公共施設には木材が使われて、久万高原天体観測館も城郭風の木造施設になった。この基本構想より久万高原ふるさと旅行村の高台に久万高原天体観測館の建設が決定された。そして平成3年11月30日に施設工事竣工、翌4年3月29日に開館した。

久万高原天体観測館は愛媛県上浮穴郡久万高原町下畑野川乙488番にあり、敷地面積は1600平方メートル。施設は星天城（外観一部三層城郭風の建物）にドーム径6m、40席のプラネタリウムがあり、一日2～4回投影を行っている。星天城内では館内展示として、久万高原天体観測館から撮影した天体写真を展示している。天文台（鉄筋コンクリート2階建て）には口径60cmの反射赤道儀望遠鏡があり、毎週火・木・土曜に観望会を行っている。また仮眠棟に宿泊し一晩中満天の星を楽しむことができる。

【目次】	新規加入館だより	1
	研修会報告	3
	令和4年度実施予定企画展・特別展スケジュール	6
	令和3年度総会報告	7
	令和3年度愛媛県博物館協会会員名簿	8

プラネタリウム投影

プラネタリウムでは暗くした室内のドーム型の天井に星を映し出し、星座や星の解説を行う。恒星、惑星、太陽、月、天の川を投影する主投影機その他、星座絵等を投影できる補助投影機を備える。これらを使い、季節の星座の探し方や神話、注目の天体現象などについて、職員による生解説を行っている。所要時間は1回約30分で季節曜日により1日2～4回実施している。



観望会

天文台では県内最大級の口径を持つ望遠鏡で、夜間来館者に本物の星を見てもらう会（観望会）を開催している。職員が望遠鏡を操作し、来館者一人ずつ望遠鏡を覗き、その後職員がその天体について解説をするという流れで実施している。なお、来館者一人ひとりに望遠鏡を覗いてもらうため、1回定員15名の予約制としている。所要時間は1回約50分で季節曜日により1日に数回実施している。



その他イベント

流星群や月食など特に注目される天文現象の際には特別観望会を実施する。例えば毎年8月のペルセウス座流星群、中秋の名月などがある。しかし観測条件が悪い場合、その天文現象のイベントは開催していない。毎月1回、宙ガールの観望会を開催し、女性限定で観望会と天体写真撮影会を行うイベントも行っている。他にも一昨年より愛媛大学宇宙進化研究センターと共同でZOOMを利用したオンライン観望会を年4回行っている。実際にカメラで撮影した天体写真を画面共有し、お客様に見ていただき、天体を解説する。新型コロナウイルスの感染拡大に伴いオンラインでのイベントが望まれているため、観望会の一つの形として今後も実施していく。



研修会報告

開催日時 令和3年11月10日(木) 13時30分～
場 所 愛媛県歴史文化博物館 第1・2研修室

『^{しゅらん}朱樂』と「座朱樂プロジェクト」

中島 小巻（町立久万美術館学芸員）

2015年、町立久万美術館に同人雑誌『朱樂』(9冊)が寄贈された。本報告では『朱樂』及び、大正期の『朱樂』を現代に継げようとする「座朱樂プロジェクト」について言及したい。

1910年、自然主義文学に対抗する文芸雑誌として刊行された『白樺』は、大正時代の文学や芸術、思想において、青年層に多大な影響を及ぼした。愛媛の青年らにとっても、仲間内で一早く『白樺』を読んでは、「おい、劉生がこんなこと言うところぞ」と議論を広げるほど、白樺派の存在は看過できるものではなかった(註1)。

大正初年頃から『白樺』の影響を受けた、旧制愛媛県立松山中学校(現愛媛県立松山東高等学校)の生徒たちの一部で、約10年にも渡って『楽天』という文芸の同人誌が刊行された。文芸や絵画作品を持ち寄り一冊に綴じ、回覧することで互いに刺激し合って、交遊を交わしていた。『楽天』メンバーには映画監督の伊藤大輔(1898～1981)、伊丹万作(1900～1946)や中村草田男(1901～1983)、重松鶴之助(1903～1938)らがいた。残念ながら、『楽天』は一冊も現存していない。その『楽天』の後継とも呼ぶべき同人誌が『^{しゅらん}朱樂』である(図1)。1925～26年、『楽天』仲間だった伊丹らが東京で再会し、『朱樂』全9冊を発行した。『楽天』と同様に絵画、戯曲、俳句など約120点を収録。万作の挿絵や草田男の自画像、小説など、映画監督、俳人、洋画家として大成した彼らの青年期の足跡、また各人の分野を越えた作品が見え、松山の文化的土壌がうかがえる。

とくに興味深いのは、信頼関係のもと互い作品を厳しく批評し合う「批評欄」である。『朱樂』の同人は、仲間の評価を咀嚼し、作品解釈に新たな広がりを見出している。また『朱樂』では同人という枠組みがありながら、志向する芸術理念に同調しない異分子的存在もグループに加えた。草田男は、「伊丹は一



図1 『朱樂』(全9冊／1925～26年／町立久万美術館蔵)

度も友人を甘やかしはしなかった。しかし、いったん一生の同行者ときめた以上は一瞬時といえどもその者の存在を念頭から消してしまうことはなかった」(註2)と万作を回顧した。発行時、万作は25歳、草田男が24歳、鶴之助が23歳。当時の混沌とした葛藤や悩み、希求する芸術観を読み取ることができる。どの同人たちも、それぞれの人生を一步踏み出した最中、あるいはその直前、であった。『朱欒』は彼らの青春時代の記録であり、「集団としての青春像」を表す同人誌である。

久万美術館では、自主企画展において『朱欒』及び同人たちの青春の足跡を顕彰し続けてきた。そして、2017年からは愛媛新聞社、松山市、久万高原町、久万美術館が一丸となって、『朱欒』を取り巻く、多角的な文化活動を繰り広げる「座朱欒プロジェクト」を実施している。プロジェクトのコンセプトは、「集団としての青春」、「知的土壌のさらなる醸成」である。端緒として、クラウドファンディングを行い、『朱欒』の翻刻本を出版した。また現代版『朱欒』の在り方として、ウェブサイト「座朱欒」(www.zachelin.jp)を運営。同年には『朱欒』を取り巻く展覧会として、「シュらん2017」展を開催。『朱欒』の仲間たちと、愛媛ゆかりの現代作家たちを交錯させた。大正と平成、時空を超えて、アーティスト同士の結びつき、在りようについて考える展覧会になった。また『朱欒』の創造精神を現代に受け継ぐべく、「朱欒フォーラム—嵐を呼ぶ句会ライブ」(2018年)、「プロジェクションマッピング」(2019年)、「オンライン・リレーマンガWS」(2020年)といった大規模なワークショップを開催し、現代の若者たちに表現、創作の場を提供した。現代のメディアを活用しながら多角的にプロジェクトに取り組み、『朱欒』のように活発に芸術、文化を語り合う、第二の『朱欒』が生まれればと考えている。

(註1) 神山敦朗「火の玉ボーイ重松鶴之助」『生誕100年 重松鶴之助よもだの創造力—伊丹万作 中村草田男 伊藤大輔「楽天」の仲間たち—』2003年。

(註2) 中村草田男「伊丹万作の思い出」『伊丹万作全集二』筑摩書房、1961年。

「博物館におけるクラウドファンディングの活用

～『朱欒』翻刻プロジェクトを事例として～

北山裕貴(愛媛新聞社 地域読者局販売部 部長)

2015年8月、町立久万美術館・高木館長から「朱欒」の翻刻出版について相談を受けたのが、当プロジェクトの始まりでした。館長の熱意は、弊社をはじめ協賛企業や関連自治体担当者の心を動かし、出版事業の域を超えたプロジェクトへ発展していきました。それは、「地域の文化遺産を形あるものとして後世に残す」、「文化芸術界、研究者、ファンへ新しい発見を提供する」、という重要な意義を持ったものでしたが、一方で、多額の費用とその調達方法をどうするかという大きな懸念がありました。そこで目を付けたのがクラウドファンディングでした。資金調達と情報発信ができるこの仕組みに挑戦する価値があると判断し、チャレンジすることを決めました。ここでは、専門的な知識やノウハウではなく、実際に取り組んだことや、それによって得た知見などを中心にお伝えします。

私なりに考えるクラウドファンディングでプロジェクトを成立させるためのポイントを5つ、以下に記します。

①プロジェクトの掲載内容

最も重要なのは「共感を作る」こと。実際のストーリーをなぞることで共感を作ろうと考えた。まず朱欒そのものの素晴らしさを伝えるとともに必要な資金額を明示、作者たちの情熱や原作のデザインの質感を伝えるため、写真や資料も掲載するとともに、「松山の白樺派青年たち」「集団としての青春を送った足跡」など象徴的なワードを使うことも意識した。さらに各自治体が協力するに至ったストーリーを記し、プロジェクトの価値を補強。最後にプロジェクトの意義、コンセプトを伝え、締めくくった。

②リターンの設定

自治体との協力体制、地産地消という枠組みを意識した商品選びを行った。「松竹梅の法則」も意識。「松竹梅の法則」とは、A or Bだと半々に分かれるものでも、A or B or Cの三択にすると真ん中に回答が集中しやすい（＝真ん中の金額を選びやすい）という法則のこと。選択肢は多すぎず、大口のリターンも設定する工夫を。

③盛り上がりの可視化

動きを見せるコツはスタートダッシュとページの更新。当プロジェクトでは最初の1カ月で25件の支援を集め、サイト訪問者に注目してもらう工夫をした。また、ページを定期的に更新し、作業の進捗や支援者へのコメントを見せることを意識。

④協力の根回し

支援者を事前に増やして勝ち戦に持ち込むことも重要。支援者がみつければクラウドファンディングへ誘導した。また、記者発表を行い、ニュースリリースを出したことで多くの県外媒体にも紹介していただき、支援者増の後押しとなった。

⑤目標額の設定

プロジェクト実現に必要な額と成立が見込める額を近づけること。他事例の調査を行い、自プロジェクトの客観的な規模感をつかむことが重要。

以上が私なりに考える成立のポイントです。あくまでクラウドファンディングはひとつの手段であることも意識しておくべきだと思います。それ自体が目的でもなければ、万能なツールでもありません。そこを忘れずにうまく使いこなすことを心掛けていただくのがよいと思います。私自身はクラウドファンディングに取り組むことで、プロジェクトの意義や価値、強みを再確認できたと思っています。少しでも皆さまにとってヒントとなれば幸いです。あわせて、今後取り組まれる様々な事業や企画のご成功をお祈りいたします。

令和4年度実施予定企画展・特別展

館 名	展示名(期間)
愛媛県総合科学博物館	企画展「わくわく鉄道おもちゃパーク」R4.4.23(土)～R4.6.26(日)／特別展「カレイドスコープ 万華鏡の世界(仮)」R4.7.16(土)～R4.9.19(月)／企画展「スポーツとサイエンス(仮)」R4.10.8(土)～R4.11.27(日)／企画展「愛媛の紙産業」R4.12.10(土)～R5.1.29(日)／企画展「天体写真で見る宇宙」R4.12.10(土)～R5.1.29(日)／企画展「俳句の植物(仮)」R5.2.18(土)～R5.4.9(日)
愛媛県歴史文化博物館	なばたとしたか こびとづかんの世界展 R4.4.16(土)～R4.6.5(日)／アニメ化30周年記念企画 ちびまる子ちゃん展 R4.7.2(土)～R4.9.4(日)／四国遍路と写し霊場(仮) R4.9.17(土)～R4.11.27(日)／学校の宝物 R5.2.11(土)～R5.4.6(木)予定
愛媛県美術館	ムーミンコミックス展 R4.4.2(土)～R4.5.29(日)／名刀は語る展 R4.4.16(土)～R4.6.12(日)／【共催展】ティラノサウルス展 R4.7.16(土)～R4.9.4(日)／【特別展】みる冒険 視覚の領域をめぐる(仮) R4.8.6(土)～R4.9.30(金)／弘法大師空海誕生1250年記念 高野山金剛峯寺名宝展(仮) R4.10.1(土)～R4.11.20(日)／中川八郎没後100年 発見された日本の風景 R4.12.1(木)～R5.1.29(日)／白川義員写真展「天地創造」R5.1.14(土)～R5.3.12(日)
愛媛県立とべ動物園	企画展(内容未定) R4.4.24(日)～R4.5.29(日)／とべ動物園写生大会入賞作品展(予定) R4.6月／とべ動物園動物画コンクール入賞作品展(予定) R4.10月／とべ動物園写真コンクール作品展(予定) R4.11月／干支展(内容未定) R4.12月～R5.3月
愛媛人物博物館 (県生涯学習センター)	(公財)愛媛県埋蔵文化財センター・愛媛県生涯学習センター共同企画展「伊予の弥生集落を探る～近年研究成果から～」R4.6.4(土)～R4.7.10(日)／愛媛人物博物館夏季企画展 R4.7.23(土)～R4.9.4(日)／愛媛人物博物館冬季企画展 R4.12.3(土)～R5.3.12(日)
愛媛大学ミュージアム	企画展「文京遺跡の解明Ⅰ キャンパスに眠る弥生の大集落 二千年の時をこえて」～R4.4.28(木)／企画展「糸・紙・織の造形 千代田憲子展」R4.5.30(月)～R4.7.30(土)／第2常設展示 「聖地へのあこがれ」R4.8.1(月)～R5.1.7(土)／「昆虫展2022」R4.8.6(土)～R4.8.10(水)
四国中央市歴史考古博物館	企画展「覚醒!?宇摩の地域意識-描かれ記録された近世宇摩の姿-」R4.1.21(金)～R4.5.31(火)／企画展「村役人からみた宇摩」R4.6月下旬～R4.10月中旬／後期企画展(考古分野) R4.11月下旬～R5.2月下旬
暁雨館	第17回 愛石のススメ展 R4.7.5(火)～R4.8.28(日)／郷土の自然・山(仮称) R4.10.4(火)～R4.12.18(日)
新居浜市美術館 (あかがねミュージアム)	描かれた女たち 女性像にみるフォルム/現実/夢 R4.4.29(金)～R4.6.26(日)／おひるねびじゅつかん R4.7.9(土)～R4.8.28(日)／新居浜の美術 コレクション展示 R4.9.10(土)～R4.10.10(月)／あかがねアート・クロッシング R4.9.10(土)～R4.10.10(月)／新居浜市市制施行85周年記念事業 五味太郎作品展[絵本の時間]3 R4.12.3(土)～R5.1.22(日)／新居浜の美術 コレクション展示 R5.1.28(土)～R5.3.19(日)
五百亀記念館	没後30年「伊藤五百亀・彫刻のいろは展」(仮) R4.4.29(金)～R4.8.31(水)予定／「伊藤五百亀・池川直・上松真弥彫刻展」(仮) R4.10.1(土)～R4.12.31(土)予定／「玉岡俊行氏無形文化財指定記念・工芸作品展～伝統と現代～」(仮) R5.2.1(水)～R5.3.31(金)予定
西条市立小松温芳図書館 郷土資料展示室	特別展「第20回 新収蔵資料展」R4.3.13(日)～R4.5.15(日)／特別展「戦争と小松 ～小松海軍航空隊と陸軍通信隊～」R4.6月末～R4.9月上旬／企画展「小松三代藩主 一柳直卿 ～蝶庵公の人生と書跡～」R4.10月上旬～R4.12月上旬／「お出かけ博物館 県歴史文化博物館のご紹介」(仮) R4.12月中旬～R5.1月下旬／特別展「小松と女性 ～資料からみる歴史・文化 近世から戦後まで～」(仮) R5.2月中旬～R5.5月下旬
西条市立東予郷土館	SDGsとカプトガニ R4.3.10(木)～R4.5.18(水)／館藏品展 R4.3.23(水)～R4.5.29(日)／私は旅にでる(仮) R4.5.1(日)～R4.6.29(水)／SDGsとカプトガニ2 R4.5.15(日)～R4.7.18(月)／動物の世界展5 R4.7.16(土)～R4.8.30(火)／事件です！一古文書でみるあんなことこんなこと(仮) R4.7.18(月)～R4.10.10(月)／染める(仮) R4.9.17(土)～R4.11.19(土)／暮らしの中の漆(仮) R4.11.3(木)～R5.1.15(日)／和紙教室作品展 R4.12.3(土)～R5.1.15(日)／夢いっぱい作品展 R5.2.1(水)～R5.2.26(日)／館藏品展 R5.3.28(火)～R5.5.28(日)
今治市伊東豊雄建築ミュージアム	開館10周年記念展「もうひとつのユートピア」～R4.9.16(金)予定
今治市大三島美術館	コラボ展「四季を創る 越智みさお・フラワーアート×現代日本画」R4.3.11(金)～R4.5.29(日)／コラボ展「妖怪と、よくわからない絵」加藤正・木版画×現代日本画 R4.6.2(木)～R4.9.4(日)／寄贈品展「村田茂樹 素描展」R4.9.7(水)～R4.10.30(日)／企画展「倉敷芸術科学大学・大三島美術館・玉川近代美術館 コラボ展」R4.11.6(日)～R4.12.25(日)／倉敷芸術科学大学・森山知己研究室×大三島美術館「屏風・BYOUBU展」R5.1月1日(日)～R5.3月予定
今治市河野美術館	河野コレクションでめぐる日本史 ～近世から現代～ R4.4.5(火)～R4.6.26(日)／2022 今美 -第15回 今治美術家作品展- R4.4.29(金)～R4.5.22(日)／河野コレクションでめぐる日本史 ～近世から現代～ R4.7.2(土)～R4.9.4(日)／日本版画会展 今治巡回展 R4.7.16(土)～R4.7.31(日)／一挙公開！明治俳句総覧(仮) R4.10.22(土)～R4.11.13(日)／まわりで感じる 中身を想像してみよう(仮) R4.12.17(土)～R5.3.19(日)／第35回 現代美術展 R5.2.7(火)～R5.2.26(日)
今治市玉川近代美術館 (徳生記念館)	今治港開港100周年記念 今治風景展(仮) R4.10月予定／企画展「倉敷芸術科学大学・大三島美術館・玉川近代美術館 コラボ展(仮)」R4.11.6(日)～R4.12.25(日)予定
松山市考古館	四国地区埋蔵文化財センター「発掘へんろ展」R4.4月～R4.7月予定／愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」①「掘ったぞな松山2022」R4.7月～R4.11月予定／愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」②「いにしへの愛媛」R4.7月～R4.11月予定／埋蔵文化財センター(考古館)特別展 前期展「松山の至宝」R4.12月～R5.3月予定／埋蔵文化財センター(考古館)特別展 後期展「タイトル未定」R4.12月～R5.3月予定
松山市坂の上の雲ミュージアム	第15回企画展テーマ展示 「『坂の上の雲』にみる日本海海戦―「運命の海」」R4.2.22(火)～R5.2.12(日)
松山市立子規記念博物館	令和4年度春季特別展 詳細未定／第68回特別企画展 詳細未定／令和5年新春特別展 詳細未定／常設展示室3階 特別展示(前期展) 詳細未定／常設展示室3階 特別展示(後期展) 詳細未定
東温市立歴史民俗資料館	【第2展示室】ふるさとゆかりの民具たち(仮) R4.6月中旬～R4.11月下旬予定／【第2展示室】昭和の生活道具(仮) R4.12月下旬～R5.5月上旬予定／【ロビー】学校に関連する資料展(仮) R4.6月下旬～R4.9月下旬予定／【ロビー】市内酒造業に関連する資料展(仮) R4.10月中旬～R5.2月中旬予定／春のおでかけ(仮) 雛あらし・行楽に関する資料展示 R5.3月下旬～R5.5月下旬予定
坂村真民記念館	開館10周年記念特別展 「砥部の砥石で己れを磨け～97年の生涯を生き切った坂村真民の生き方～」R4.3.5(土)～R4.8.28(日)／企画展 「坂村真民と家族の詩(うた)」R4.9.3(土)～R5.2.26(日)／岡山県高梁市・成羽美術館での出張展示会「坂村真民の世界」展 R4.7.9(土)～R4.9.4(日)
町立久万美術館	久万美コレクション展Ⅱ 口笛/封印 現代作家 矢原繁長+詩人 岸田将幸 R4.3.19(土)～R4.5.22(日)／久万美コレクション展Ⅱ 新収蔵 河村元泰コレクション ～R4.5.22(日)／2022年度自主企画展 SATO Keira Wonder 怪物/佐藤溪 R4.5.28(土)～R4.9.11(日)／久万美メッセ 森本兄弟(仮) R4.9.17(土)～R4.12.4(日)／久万美コレクション展Ⅰ 未定 R4.12.10(土)～R5.4.23(日)
面河山岳博物館	春の企画展「春の面河溪へ行こう！動画でたどる昭和の面河溪観光」R4.4.29(金)～R4.6.26(日)／第55回特別展「100円ショップとホームセンターのグッズでできる！博物館のスゴ技」R4.7.23(土)～R4.9.4(日)／秋の企画展「森の賢者ヒキガエル」R4.10.1(土)～R4.11.27(日)
内子町木蠟資料館上芳我邸	八日市護国地区重伝建地区選定40周年記念特別展「八日市護国地区40年のあゆみ」夏頃／木蠟資料館上芳我邸第7回企画展 未定
大洲市立肱川風の博物館・歌麿館	第21回 版画絵はがきコンテスト作品展(肱川風の博物館) R4.3.16(水)～R4.6.26(日)／中岡義満絵画展(肱川風の博物館) R4.9.17(土)～R4.11.20(日)／風の博物館Award2022(肱川風の博物館) R4.11.26(土)～R4.12.18(日)／未定 R5.1.14(土)～R5.2.19(日)／第22回版画絵はがきコンテスト R5.3月予定／名所江戸百景 春の景(歌麿館) R4.4.9(土)～R4.7.3(日)／名所江戸百景 夏の景(歌麿館) R4.7.9(土)～R4.9.25(日)／浮世絵展(仮)(歌麿館) R4.10.1(土)～R4.12.18(日)／浮世絵展(仮)(歌麿館) R5.1.5(木)～R5.4.2(日)

八幡浜市美術館	郷土企画展「道上 伯展」R4.7.24(日)～R4.8.21(日)／第45回八幡浜市美術館 R4.9月上旬予定／八幡浜市美術館コレクション展 R4.9月下旬～R4.10月上旬予定／令和3・4年度市町村立美術館活性化事業 第22回共同巡回展 土門拳記念館コレクション展 土門 拳～肉眼を超えたレンズ～ R4.10.29(土)～R4.12.11(日)／第71回秋季県展八幡浜移動展 R5.1.4(水)～R5.1.15(日)予定／やわたはまるごとアート展 R5.2.3(金)～R5.2.19(日)予定
宇和文化の里 (宇和先哲記念館・宇和民具館)	宇和民具館 季節展示「端午の節句展」R4.4.16(土)～R4.5.29(日)／宇和先哲記念館 季節展示「端午の節句展」R4.4.16(土)～R4.5.29(日)／宇和先哲記念館 館蔵品展「河合喜代子絵画展～教会のある町～」R4.6.11(土)～R4.8.14(日)／宇和民具館 企画展「戦時下のこどもたち～学校日誌から見えてくる当時の様子～」R4.6.11(土)～R5.1.15(日)／宇和先哲記念館 企画展「古谷兄弟(仮)」R4.8.20(土)～R5.1.22(日)／宇和民具館 季節展示「卯之町のひなまつり」R5.2.1(水)～R5.4.2(日)／宇和先哲記念館 季節展示「ひなまつり展」R5.2.1(水)～R5.4.2(日)
西予市立美術館ギャラリーしろかわ	(企画展)名作 富永一朗芸術漫画原画展～先生を偲んで～ 第1期(3/19～4/17)、第2期(4/22～7/7) R4.3.19(土)～R4.7.7(木)／(企画展)第5展示室 かまぼこ板の絵作品展 あなたが選んだベスト100 R4.3.19(土)～R4.7.7(木)／(企画展)第1展示室 (※名称未定)秋田緑氏企画展 R4.4.22(金)～R4.7.7(木)／第27回全国「かまぼこ板の絵」展覧会 R4.7.23(土)～R4.12.4(日)／(企画展)第1、2展示室 ※詳細未定／(企画展)第5展示室 かまぼこ板の絵作品展 あなたが選んだベスト100 R5.1.4(水)～R5.3月予定
虹の森公園おさかな館	夏の企画展(内容未定) R4.7.23(土)～R4.8.31(水)／干支の魚展 R4.12.1(木)～R5.1.9(月)／春の風物詩シロウオ展 R5.2.1(水)～R5.2.28(火)
宇和島市立伊達博物館	R 4 宇和島伊達家コレクション展① 「宗城交遊録-水戸徳川家とのつながり-」R4.4.29(金)～R4.10.17(月)／G.W.特別企画展「吉田藩伊達家と大乗寺」(仮)R4.4.29(金)～R4.6.27(月)／R4-ダテハク企画展① R4.7.2(土)～R4.10月中旬予定／山家清兵衛展 R4.7.13(水)～R4.8.1(月)／R4-秋期特別展 絹本着色豊臣秀吉像令和修理記念特別展「職人の技と美～文化財を未来に伝えるために～」(仮) R4.10月中旬～R4.11月中旬予定／R4-宇和島伊達家コレクション展② R4.11月中旬～R5.4月中旬／R4-ダテハク企画展② R4.11月中旬～R5.4月中旬／R4年度 ひな人形・ひな調度展 R5.2.17(金)～R5.4月中旬
公益財団法人 愛媛民芸館	伊予餅とカゴ R4.4.29(金)～R4.7.31(日)／沖縄とガラス展 R4.8.6(土)～R4.11.27(日)／干支(卯)と正月飾り展 R4.12.3(土)～R5.1.29(日)／お雛様と郷土玩具展 R5.2.4(土)～R5.3.26(日)
公益財団法人 愛媛文華館	日本の焼物 萩・出雲・備前 R4.4.1(金)～R4.6.26(日)／児童の為の美術展 R4.6.28(火)～R4.9.19(月)／蒔絵展 R4.9.21(水)～R4.12.25(日)／大皿と壺 R5.1.5(木)～R5.3.31(金)
伊丹十三記念館	おじさんのススメ シェアの達人・伊丹十三から若い人たちにへ 未定
ミウラート・ヴィレージ (三浦美術館)	第16回えひめ工芸作家展 R4.3.2(水)～R4.5.8(日)／水彩画展～光と花と R4.5.22(日)～R4.8.7(日)／三浦保・昭子 めおと展 R4.8.28(日)～R4.10.30(日)／M. コレクション展XI R4.11.13(日)～R5.1.29(日)／愛媛大学教育学部美術教育講座 卒業研究展 2023 R5.2.5(日)～R5.2.14(火)／第17回えひめ工芸作家展 R5.3.1(水)～R5.5.7(日)
高島華宵大正ロマン館	「華宵・折衷の美」展 R4.2.5(土)～R4.5.8(日)／「夏の記憶」展(仮) R4.6月～R4.8月／コレクション・テーマ展(予定) R4.9月～R4.11月／コレクション・テーマ展(予定) R4.12月～R5.2月
セキ美術館	春の所蔵作品展「セキ美術館花づくし～花の作品を一堂に～」R4.3.4(金)～R4.5.29(日)／夏の所蔵作品展 R4.6.3(金)～R4.8.28(日)／秋の所蔵作品展 R4.9.2(金)～R4.11.27(日)／冬の所蔵品作品展 R4.12.2(金)～R5.2.26(日)／春の所蔵作品展 R5.3.3(金)～R5.5.28(日)
砥部むかしのくらし館	優しきものづくりびと～絵から人形へ～ 森元青芳展 R4.3.3(木)～R5.1.29(日)
タオル美術館	DISNEY PRINCESS PARTY MOMENT R4.1.22(土)～R4.8.30(火)
瓶舎舎いどろ・ぎやまん・ガラス美術館	ぎやまんの華・彫刻美 江戸切子の傑作、ぞくぞく登場 R4.3.17(木)～R4.9.4(日)／民藝 Beauty in Every Day Life R 4.9.15(木)～R4.12.18(日)

◎新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定を変更、中止する場合がありますので、開館状況等については、各館園にお問い合わせください。

令和3年度総会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により、今年度の総会は令和3年6月25日付の書面により開催しました。

議事は、これまでどおり令和2年度事業報告、決算報告及び同監査報告、令和3年度事業計画及び予算、役員改選について審議され、承認されました。

また、総会の書面決議の結果報告とともに各館のリモート環境整備状況についてアンケートを実施しました(令和3年7月29日付の書面で結果報告済)。

令和3年度の役員体制

会 長 愛媛県歴史文化博物館

副会長 セキ美術館

理 事 愛媛県美術館 (公財) 愛媛民芸館 今治市河野美術館 愛媛県立とべ動物園
大洲市立博物館 宇和島市立伊達博物館

監 事 松山市坂の上の雲ミュージアム 愛媛県総合科学博物館

愛媛県博物館協会 会報「愛媛の博物館」No.59

編集・発行／愛媛県博物館協会事務局(愛媛県歴史文化博物館内)

〒797-8511 西予市宇和町卯之町 4-11-2 tel 0894-62-6222 fax 0894-62-6161

令和3年度 愛媛県博物館協会 会員名簿

区分	館 名	郵便番号	住 所	電話番号	F A X
国 県 立 (7)	愛媛県美術館	790-0007	松山市堀之内	089-932-0010	089-932-0511
	愛媛県総合科学博物館	792-0060	新居浜市大生院 2133-2	0897-40-4100	0897-40-4101
	愛媛県立とべ動物園	791-2191	伊予郡砥部町上原町 240	089-962-6000	089-962-6194
	愛媛県歴史文化博物館	797-8511	西予市宇和町卯之町 4-11-2	0894-62-6222	0894-62-6161
	湯築城資料館	790-0857	松山市道後公園	089-941-1480	089-941-1481
	愛媛人物博物館（県生涯学習センター）	791-1136	松山市上野町甲 650	089-963-2111	089-963-4526
	愛媛大学ミュージアム	790-8577	松山市文京町 3	089-927-8293	—
市 町 立 (36)	四国中央市歴史考古博物館	799-0101	四国中央市川之江町 2217-83	0896-28-6260	0896-28-6260
	「霧の森」茶フェミュージアム	799-0301	四国中央市新宮町馬立 4491-1	0896-72-3111	0896-72-3112
	暁雨館	799-0712	四国中央市土居町入野 178-1	0896-28-6325	0896-28-6326
	新居浜市美術館（あかがねミュージアム）	792-0812	新居浜市坂井町 2-8-1	0897-31-0305	0897-31-0306
	新居浜市広瀬歴史記念館	792-0046	新居浜市上原 2-10-42	0897-40-6333	0897-40-6334
	五百亀記念館	793-0023	西条市明屋敷 238-2	0897-53-1008	0897-53-1008
	西条市立小松温芳図書館 郷土資料展示室	799-1101	西条市小松町新屋敷甲 3007-1	0898-72-5634	0898-72-5635
	西条市立東予郷土館	799-1371	西条市周布 427	0898-65-4797	0898-65-5815
	四国鉄道文化館	793-0030	西条市大町 798-1	0897-47-3855	0897-53-6200
	今治市伊東豊雄建築ミュージアム	794-1308	今治市大三島町浦戸 2418	0897-74-7220	0897-74-7225
	今治市大三島美術館	794-1304	今治市大三島町宮浦 9099	0897-82-1234	0897-82-1248
	今治市上浦歴史民俗資料館 村上三島記念館	794-1402	今治市上浦町井口 7505	0897-87-4288	0897-87-4200
	今治市河野美術館	794-0042	今治市旭町 1 丁目 4-8	0898-23-3810	0898-23-3810
	今治城	794-0036	今治市通町 3-1-3	0898-31-9233	0898-31-9235
	今治市玉川近代美術館	794-0102	今治市玉川町大野甲 86 番地 4	0898-55-2738	0898-55-2738
	今治市村上海賊ミュージアム	794-2203	今治市宮窪町宮窪 1285	0897-74-1065	0897-86-3379
	松山市考古館	791-8032	松山市南斎院町乙 67-6	089-923-8777	089-925-0260
	松山市坂の上の雲ミュージアム	790-0001	松山市一番町三丁目 20	089-915-2600	089-915-3600
	松山市立子規記念博物館	790-0857	松山市道後公園 1-30	089-931-5566	089-934-3416
	東温市立歴史民俗資料館	791-0211	東温市見奈良 509-3	089-964-0701	089-964-0701
	坂村真民記念館	791-2132	伊予郡砥部町大南 705	089-969-3643	089-969-3644
	久万高原町立山村歴史館（ふるさと旅行村）	791-1212	久万高原町下畑野川乙 488	0892-41-0711	0892-41-0840
	町立久万美術館	791-1205	久万高原町菅生 2 耕 1442-7	0892-21-2881	0892-21-1954
	面河山岳博物館	791-1710	久万高原町若山 650-1	0892-58-2130	0892-58-2136
	久万高原天体観測館	791-1212	久万高原町下畑野川乙 488	0892-41-0110	0892-41-0822
	五十崎風博物館	795-0301	喜多郡内子町五十崎甲 1437	0893-44-5200	0893-44-5202
	内子町木蠟資料館上芳我邸	791-3301	喜多郡内子町内子 2696	0893-44-2771	0893-44-2771
	内子町歴史民俗資料館	791-3301	喜多郡内子町内子甲 1938	0893-44-5220	0893-44-5220
	大洲市立博物館	795-0054	大洲市中村 618-1	0893-24-4107	0893-24-4107
	大洲市立肱川風の博物館・歌麿館	797-1505	大洲市肱川町予子林 99 番地 1	0893-34-2181	0893-34-3966
	八幡浜市美術館	796-0066	八幡浜市本町 62-1	0894-21-3335	0894-21-3336
	伊方町町見郷土館	796-0422	西宇和郡伊方町二見甲 813 - 1	0894-39-0241	0894-39-0241
	宇和文化の里	797-0015	西予市宇和町卯之町 4 丁目 327	0894-62-6700	0894-62-6701
	宇和島市立伊達博物館	798-0061	宇和島市御殿町 9-14	0895-22-7776	0895-22-7819
	西予市立美術館「ギャラリーしろかわ」	797-1717	西予市城川町下相 680	0894-82-1001	0894-82-0756
	虹の森公園おさかな館	798-2102	北宇和郡松野町大字延野々 1510-1	0895-20-5006	0895-20-5012
私 立 (15)	（公財）愛媛民芸館	793-0023	西条市明屋敷 238-8	0897-56-2110	0897-56-2110
	壬生川カブトガニ標本室	799-1362	西条市今在家 187	0898-64-3052	0898-64-3052
	西山興隆寺宝物館	791-0505	西条市丹原町古田甲 1657	0898-68-7275	0898-68-8030
	乗禅寺宝物館	794-0084	今治市延喜甲 600	0898-22-4671	0898-23-2360
	（公財）愛媛文華館	794-0037	今治市黄金町 2 丁目 6-2	0898-32-1063	0898-31-3299
	大山祇神社宝物館	794-1393	今治市大三島町宮浦 3327	0897-82-0032	0897-82-0019
	伊丹十三記念館	790-0932	松山市東石井町 1 丁目 6-10	089-969-1313	089-969-1314
	庄薬師堂（十輪寺）	799-2404	松山市庄 810	089-992-3658	089-992-1214
	セキ美術館	790-0848	松山市道後喜多町 4-42	089-946-5678	089-946-5688
	ミウラート・ヴィレッジ（三浦美術館）	799-2651	松山市堀江町 1165-1	089-978-6838	089-978-0323
	Art Labo KASURI 歴史館（白方興業㈱）	791-8016	松山市久万の台 1200	089-922-0111	—
	高畠華宵大正ロマン館	791-0222	東温市下林丙 654-1	089-964-7077	089-964-7222
	とべむかしのくらし館	791-2132	伊予郡砥部町大南 703	089-961-4666	089-961-4666
	タオル美術館	799-1607	今治市朝倉上甲 2930	0898-56-1515	0898-56-2727
	瓶泥舎びいどろ・ぎやまん・ガラス美術館	790-0847	松山市道後緑台 7-21	089-922-3771	089-922-3771